

＜別表＞全国障害者スポーツ大会障害区分表と広島県障害者卓球大会障害区分表

全国障害者スポーツ大会障害区分表				区分 番号	広島県障害者卓球大会障害区分表	
		障害区分				
肢体不自由	Ⅰ	上肢	1	片上肢障害	①	立位（上肢）
			2	両上肢障害		
		下肢	3	片下腿切断または片下肢不完全	②	立位（下肢・体幹）
			4	片大腿切断または両下腿切断 片下肢完全または両下肢不完全		
			5	片下腿および片大腿切断 両大腿切断または両下肢完全		
		体幹	6	体幹 ※1		
	Ⅱ	脳 原 性 麻 痺 以 外 で 車 い す 常 用 ・ 使 用	7	第8頸髄まで残存 ※2	③	車いす使用者
			8	座位バランスなし		
			9	その他の車いす		
	Ⅲ	脳 原 性 麻 痺	10	車いす使用	④	立位（脳原性麻痺・片側障害） ※脳血管障害後の後遺症などによる障害があり、 立ってプレーをされる方はこの区分です。
			11	杖または松葉杖使用		
			12	上肢に不随意運動あり		
			13	上肢に不随意運動なし		
			14	片側障害		
視覚障害 ※3		15	アイマスクまたはアイシェードあり※4	⑤	アイマスク（アイシェード）あり【サント・テーブルテニス】	
		16	アイマスクまたはアイシェードなし	⑥	アイマスク（アイシェード）なし【一般卓球】	
聴覚・平衡機能障害、 音声・言語・そ しゃく機能障害		17	聴覚障害	⑦	聴覚障害	
				内部障害		

※1 頸部・胸部・腹部および腰部（脊柱）のみに変形がある者とする。（脊椎カリエス等）

※2 「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

※3 視力・視野の程度に関わらず、アイマスクまたは、アイシェードの有無で出場競技を分ける。

※4 障害区分15は、各自で用意した光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。

★ はじめに、「全国障害者スポーツ大会障害区分表（左表）」で自分の障害区分を確認し、それを「広島県障害者卓球大会障害区分表（右表）」に置き換えて、今大会の区分番号を確認すること。